

## まちだ未来の会 第2回学習会記録

### 市の「施設再編計画」を読み解く！

日時：2017. 6. 24 PM6:00～8:30

場所：わくわくプラザ町田 F3 講習室

参加者：41名

#### 1. あいさつ (藺田)

町田市の再編計画について考えていきたい。

ロールプレイの説明・・・あくまでも架空の設定である。

まほろ市公共施設再編計画

登場人物 まほろ市長 (増山)

コンサルタント ヤモリ氏 (守谷)

市民A タクボさん (久保)

市民B ススキさん (鈴木)

#### 2. ロールプレイ

市長：1960年から市は急激な人口増加があったが、その後財源不足となり、都市の魅力を高めていく必要から再編計画を策定した。2015年には町田ニューパラダイムを出した。老朽化した施設が多くなり、今後老人3人を2人で支える社会となる。現在、再編計画に対する意見募集をやっている。

ヤモリ氏：某大学で、公共政策を講じている。町田市より、人件費を減らしても、物件費

(臨時職員費用)が増えて困ると相談を受けた。2013年次の四つの核を考えた。どうしても近くにないと困るものを残して公共施設を集約し、交通手段(15分以内で行ける)を整備する。

四つの核・・・町田駅周辺、多摩境、南町田、鶴川

民間資源を投ずる。(スマートパブリック)

“グリーンプラザ”(2015年提案)

空き家、学校、神社などを使い、地域を活性化させる。

2月、5か年計画(2017～2021)“町田市未来計画”をHPに公開。

お金がないことは、行財政改革プランに具体的に書いてある。

暗い話は、価値を創設することによって(複合化によって)変えていく。

市民B：計画では、文化、生涯教育が隅っこに押しやられている。2016年までは、

重点が置かれており、図書館も6館から8館に増えた。今度はそれを減らし、文学館、博物館もなくし、集会施設も減らすという。危惧をおぼえる。

市長：サルビア図書館はかなり老朽化している。市というのは人数ではかる。図書館の利用人数は減っ

ている。

市民A：町が新しくステキになったらいいと思っているが、計画には新しさが無い。  
集約多機能化で地域の個性がなくなっている。もっと、市民の意見が知りたい。  
町田のひとが考えた方がいい。

ヤモリ先生：どこでもやっているのは、どこも同じ必要にせまられているから。  
パンフレットP3参照。

市民B：基本方針に総論としては賛成だが、市民の知恵、意見をいれてほしい。  
スポーツも大事だが、文化も大切である。鶴川図書館は、団地の自治会ではこの建物の立て替えと同時に、もっと広くして充実させる計画を立てている。

市民A：スポーツと文化を対立させるのではなく、横につながる方がいい。公共施設は、お金をかけずに連携し、情熱をもって発信を。

・・・ おわり ・・・

司会 みなさんから、聞いてみたいことはありませんか？（なし）  
これから、各テーブルで話し合しましょう。

ここで、資料の説明あり。（守谷）

### 3. グループ討議

#### 4. グループでの話を発表

①複合化して便利になるという意見もあった。しかし、遠い人は困る。

集会施設は、利用時間を見直して、無駄なく使えるように工夫することも必要だ。

今ある施設の良さを洗い出す。

大学等の図書もデータベース化して利用できれば、利用者は増える。

意見書は、個人や団体でたくさん出そう。

②不満がいろいろ。

町田の財政は、本当に悪いのか？ 配分に問題があり、市長は、格好つけている。

外部コンサルタントに頼りがち。

町づくりは、市民のボトムアップを基にすべき。

地区協議会もそうだった。長野や、熱海は、市民の意見が強い。

町内会では、いろいろ意見が出ているが、ばらばらなので、横のつながりが弱い。

町田は、残念ながら市役所に振り回されている。市民の力をつけていかなければならない。

③大不満大会になった。

4つの核としてあげられた南町田は、東急が開発した町である。ほかの拠点も、それぞれ性格が違

う。理由づけがほしい。

地区協議会の性格はまだ、、、。

野津田公園に85億円もかけるのか？

複合施設をつくるのなら映画館がほしい。

老人くらは、高齢者のおもり役？

今の市長では、町づくりはできない。

④文学館や自由民権資料館は、本質的に入場者の数などでは価値をはかれない。

町田の魅力を考えていくこと。多様性も。

団地の空き室がめだつ。

施設利用の予約がとりにくい。

民間委託では文化が継承されない。

大和市図書館は、複合化され、オシャレになったが、どこも100円、200円かかる。税金負担しているのに。

いい町にすれば、人口は増える。

市民の声を聞くことができていない。

図書館の資料費が減っている。資料が買えないことが利用者が減っている一因。

⑤減びゆく町田、きらめく町田という2者選択はおかしい。

財源の問題は、配分の問題である。データの出し方にも問題。

6・19の学習会で、市は、財源不足は構造的な問題で市民で考えて欲しいと言った。

誘導的で、市民の自己決定権を維持していくあやうさを感じた。

市議の吉田つとむ氏のブログにあったが、スポーツ施設とガラス工芸館を計画からなくせば80億は浮く。自身はガラス卸売部門に勤めていたが、町田のガラス工芸品が世界レベルからみて、わざわざ美術館を造るほどのものではないと言っていた。

・・・ここで、本日成瀬の説明会に参加した鈴木さんから、コメント・・・

説明会の資料にガラス工芸館とスポーツ施設の計画が載っていないので質問した。

このことは、市長が主張しているのではという答え。

・・・小学校教員退職者の木原氏の発言・・・

2年前、町田市の学校、小学校42校、中学校20校の備品費がゼロになり、教育活動は大変支障がでた。紙が自由に使えず、文集、学級通信が減り、掲示物のサイズも2/1こどもたちも学校もこまった。その財源はどこにまわったのか？請願をだして、次年度は7、8割に戻った。4つの核への巨大プロジェクトに業者がからみ、間違ったトリックがある。

参加者より、どのくらいの金額が削られたのかという質問があり、やはり教員の参加者より、全体の費用の35%が削られたという発言があった。

5. 意見募集について (藺田)

募集用紙の様式にかかわらず書いてよい。市はこれを見て、第1期の具体案を作成。

みなさんにここで書いてもらえたら、会で預かって、つぎの請願の資料にしたのち、しっかり市に

渡すようにしたい。後日送ってもらってもいい。

6. 請願について (守谷)

請願のしめきりは、議会月の5日 pm5:00. 9月に持っていきたい。

請願のテーマは、前段、町田の文化・生涯教育への目配りをしてほしい。具体例で図書館の資料費をあげる。後段で再編計画への市民の意見を入れるようボトムアップすることを述べること。(案) 請願の取組については、拍手で承認。

\* 参加者より、町内会で請願をした経験が話された。

昨年12月、博物館の存続を求める請願をした。各自治会で取組み、1か月で8000名の署名を得、何回かの審議ののちに通った。本来の郷土博物館として存続。

これからの市の予定

8月22日 庁内再編検討委員会 15:00~ 傍聴可。(要申し込み)

9月1日 広報

12月15日 広報特集号 行政報告

3月 策定決定

7. 今後の取り組みについて

多様な人に参加をよびかけ、市民側の計画を出していきたい。

参加者より

請願を出したからと言って計画がひるがえることはむずかしい。お金のことを議論しなければならない。数字を分析できる人にも参加してほしい。

(記録 庄司)